



ネットワークモデルの構成 : Cisco WAE UI

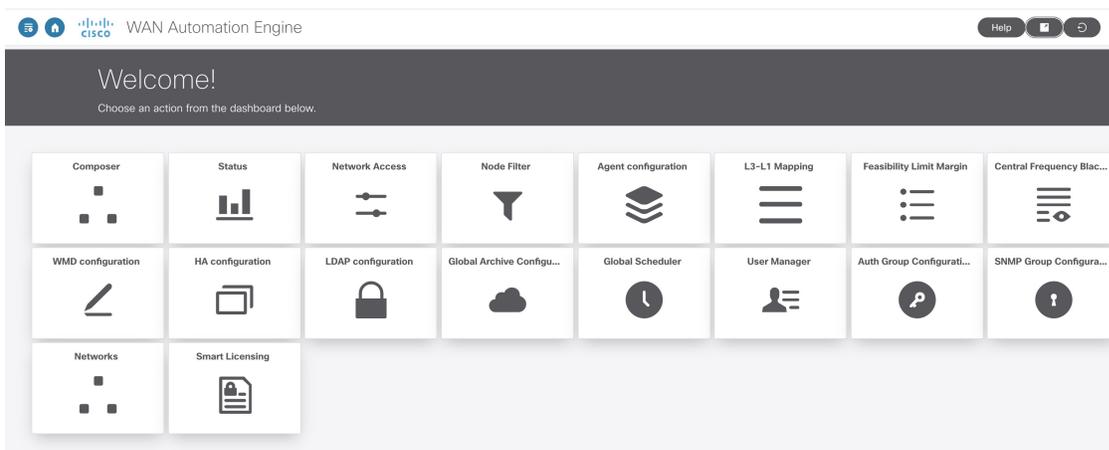
ここでは、次の内容について説明します。

- [Cisco WAE UI の概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco WAE UI を使用したネットワークモデルの構成 \(4 ページ\)](#)

Cisco WAE UI の概要

Cisco WAE UI には、デバイスとネットワークのアクセス、ネットワークモデルの作成、ユーザー管理、エージェント設定などのための、使いやすい設定ツールが用意されています。

基本的なネットワークモデル設定については、ネットワーク モデル コンポーザで始めることをお勧めします。また、エキスパートモードや Cisco WAE CLI を使用して、特定の操作も実行できます。使用するインターフェイスに関係なく、最後にコミットされた設定が保存されます。



(注) ユーザーごとに1つのセッションのみがアクティブであることを確認してください。ユーザーごとに複数のセッションを行うと問題が発生する可能性があるため、お勧めしません。

アイコン	説明	詳細
	メイン Cisco WAE UI ランディングページに戻ります。	—
コンポーザ	ネットワークモデルコンポーザを開き、ネットワークモデルを作成および構築できます。	ネットワークモデルコンポーザを使用 (10 ページ)
ステータス	ステータスダッシュボードは、システムリークの原因となるプロセスや、リソースを使い切っているプロセスの特定に役立ちます。	ステータスダッシュボード
Network Access	[ネットワークアクセス設定 (network access configuration)] ページを開きます。このページでは、グローバルデバイスとネットワークのログイン情報を設定できます。	Cisco WAE UI を使用したネットワークアクセスの設定 (5 ページ)
ノードフィルタ	[ノードフィルタ (Node Filter)] ページを開きます。このページでは、個々のノードを収集から除外したり含めたりできます。	Cisco WAE UI を使用したノードフィルタの設定 (8 ページ)
エージェントの設定	[エージェントの設定 (agent configuration)] ページを開きます。このページでは、エージェントを作成したり変更したりできます。	Cisco WAE UI を使用したエージェントの設定 (7 ページ)
L3-L1 マッピング	[L3-L1 マッピング設定 (L3-L1 mapping configuration)] ページを開きます。このページでは、マルチレイヤ収集のための L3-L1 ノードおよび回路のマッピングを作成および変更できます。	L3-L1 マッピング情報の構成
フィージビリティ制限マージン	[フィージビリティ制限マージンの設定 (feasibility limit margin configuration)] ページを開きます。このページでは、L1 回路パスの許容可能な品質を設定できます。	「L1 回路波長」トピックは Cisco WAE Design ユーザーガイドにあります。
中心周波数除外リスト	[中心周波数除外リストの設定 (central frequency excludelist configuration)] ページを開きます。このページでは、L1 回路パスの中心周波数 ID として機能しない可能性がある周波数 ID のリストを定義できます。	「L1 回路波長」および「中心周波数 ID の除外リスト」のトピックは Cisco WAE Design ユーザーガイドにあります。

アイコン	説明	詳細
WMD 設定	[WMD設定 (WMD configuration)] ページを開きます。このページでは、デバッグ、rpc およびアプリケーションサブスクライバ接続、デマンドなどのWMDオプションを表示できます。これらのオプションを編集するには、エキスパートモードやWAE CLI またはWAE UI を使用します。	Cisco WAE モデリングデーモン (WMD) の構成
HA 設定	[高可用性 (HA) 設定 (high availability (HA) configuration)] ページを開きます。このページでは、HA に使用するノードを指定できます。	ハイアベイラビリティの設定
LDAP 設定	[LDAP 設定 (LDAP configuration)] ページを開きます。このページでは、LDAP の詳細を有効にして設定できます。	<ul style="list-style-type: none"> LDAP の設定 WAE UI を使用した LDAP の設定
グローバルアーカイブ設定	[グローバルアーカイブ (Global Archive)] ページを開きます。このページでは、プランファイルをダウンロードできます。	プランファイルのダウンロード (17 ページ)
グローバルスケジューラ	[グローバルスケジューラ (Global Scheduler)] ページを開きます。このページでは、スケジューラされたタスクを作成できます。	ネットワークモデルコンポーザを使用したジョブのスケジューラ (16 ページ)
ユーザ マネージャ	[ユーザー管理 (user management)] ページを開きます。このページでは、ユーザーの追加、変更、削除ができます。	ユーザーの管理
認証グループの設定	[認証グループの設定 (Auth Group Configuration)] ページを開きます。このページでは、新しい認証グループを作成できます。	Cisco WAE UI を使用したネットワークアクセスの設定 (5 ページ)
SNMP グループの設定	[SNMPグループの設定 (SNMP Group Configuration)] ページを開きます。このページでは、新しいSNMPグループを作成できます。	Cisco WAE UI を使用したネットワークアクセスの設定 (5 ページ)
ネットワーク	[ネットワーク (Network)] ページを開きます。このページでは、スタンドアロンネットワークを作成できます。	スタンドアロンネットワークの作成 (9 ページ)

アイコン	説明	詳細
	[スマートライセンス (Smart Licensing)] ページを開きます。このページでは、Cisco WAE のスマートライセンスを有効にして登録できます。	Cisco Smart Licensing
	左側のメインの Cisco WAE UI ナビゲーションメニューを切り替えます (左側のサイドバーメニューとも呼ばれます)。	—
	新しいタブで Cisco WAE UI のオンラインヘルプを起動します。 (注) 初版発行後、ドキュメントが更新されることがあります。最新の更新については、Cisco.com にある Cisco WAE 7.2.1 ユーザーガイドのドキュメントを参照してください。	—
	エキスパート モードを別のウィンドウで起動します。	ネットワークモデルの構成 : エキスパートモード
	現在のユーザーをログアウトします。	—

Cisco WAE UI を使用したネットワークモデルの構成

このワークフローでは、Cisco WAE UI とネットワーク モデル コンポーザを使用してネットワークモデルを作成する手順の概要について説明します。



- (注) エキスパートモードまたは Cisco WAE CLI を使用して作成されたネットワークモデル設定を Cisco WAE UI に表示するには、集約ネットワークである必要があります。または、集約ネットワークのソースとして追加する必要があります。

ステップ	詳細
1. デバイスログイン情報 (ネットワーク認証グループと SNMP グループ) を構成します。	Cisco WAE UI を使用したネットワークアクセスの設定 (5 ページ)
2. (オプション) 特定の情報を収集するエージェントを作成します。エージェントは、XTC を使用した情報収集またはマルチレイヤ収集に必要です。	Cisco WAE UI を使用したエージェントの設定 (7 ページ)

ステップ	詳細
3. (オプション) DARE ネットワークではないネットワークを作成します。	スタンドアロンネットワークの作成 (9 ページ)
ネットワーク モデル コンポーザを使用して次の操作を行います。	
3. ネットワークを作成してトポロジ収集を実行します。	ネットワークの作成とトポロジ収集の構成 (10 ページ)
4. NIMO を使用して追加のデータ収集を構成します。	ネットワーク モデルコンポーザを使用した追加NIMOの構成 (12 ページ)
5. NIMO を集約してネットワークを構築します。	ネットワーク モデルコンポーザを使用したNIMO 収集の統合 (13 ページ)
6. (オプション) ネットワークで実行するトラフィック収集とカスタマースクリプトを設定します。	ネットワーク モデルコンポーザを使用したトラフィック収集またはカスタムスクリプトの実行 (14 ページ)
8. (オプション) アーカイブを構成します。	ネットワーク モデルコンポーザを使用してアーカイブを設定します。 (15 ページ)
7. (オプション) ネットワーク収集とエージェントを実行するためのスケジューリングジョブを作成します。	ネットワーク モデルコンポーザを使用したジョブのスケジュール (16 ページ)

Cisco WAE UI を使用したネットワークアクセスの設定

このタスクでは、ネットワーク アクセス プロファイルを作成して、グローバルデバイスログイン情報を定義します。

始める前に

グローバル ネットワーク デバイスのログイン情報を把握します。

ステップ 1 WAE UI から、[ネットワークアクセス (Network Access)]をクリックします。

ステップ 2 [+ネットワークアクセスの作成 (+ Create Network Access)]をクリックします。

ステップ 3 グローバルデバイスログイン情報を入力します。

- [名前 (Name)] : ネットワーク アクセス プロファイルの名前を入力します。
- [ログインタイプ (Login Type)] : 使用するログインプロトコルを [SSH] または [Telnet] から選択します。SSH プロトコルはより安全です。Telnet プロトコルは、ユーザー名とパスワードを暗号化しません。
- [認証グループ (Authorization Group)] : デフォルトを選択するか、新しい認証グループを作成します。新しい認証グループを作成する場合は、それに続くフィールドにその名前と該当する情報を入力します。

- (注) WAE UI から直接、新しい認証グループを作成することもできます。Cisco WAE UI から、[認証グループの設定 (Auth Group Configuration)] を選択し、[認証グループの作成 (Create Auth Group)] をクリックします。詳細を入力して [Save] をクリックします。

ステップ 4 デフォルトを選択するか、新しい SNMP グループを作成します。新しい SNMP グループを作成する場合は、名前を入力し、SNMPv2c または SNMPv3 のいずれかを選択します。

- (注) WAE UI から直接新しい SNMP グループを作成することもできます。Cisco WAE UI から、[SNMP グループの設定 (SNMP Group Configuration)] を選択し、[SNMP グループの作成 (Create SNMP Group)] をクリックします。詳細を入力して [Save] をクリックします。

- [SNMPv2c] の場合、パスワードとして機能する SNMP RO コミュニティストリングを入力します。これは、ノードとシードルータの間で送信されるメッセージを認証するために使用されます。
- [SNMPv3] の場合、次のデフォルトのログイン情報を入力します。
 - [セキュリティレベル (Security Level)] : 次のいずれかを選択します。
 - [noAuthNoPriv] : 認証も暗号化も実行しないセキュリティレベル。このレベルは、SNMPv3 ではサポートされていません。
 - [authNoPriv] : 認証は実行するが、暗号化を実行しないセキュリティレベル。
 - [authPriv] : 認証と暗号化の両方を実行するセキュリティレベル。
 - [認証プロトコルとパスワード (Authentication Protocol and Password)] : 次のいずれかを選択します。
 - [md5] : HMAC-MD5-96 認証プロトコル
 - [sha] : HMAC-SHA-96 認証プロトコル
 - [暗号化プロトコルとパスワード (Encryption Protocol and Password)] : priv オプションで、SNMP セキュリティ暗号化方式として、DES または 128 ビット AES 暗号化を選択できます。priv オプションと aes-128 トークンを併用すると、このプライバシーパスワードは 128 ビットの AES キー番号を生成するためのパスワードになります。AES priv パスワードは、8 文字以上の長さにできます。パスフレーズをクリアテキストで指定する場合、最大 64 文字を指定できます。ローカライズドキーを使用する場合は、最大 130 文字を指定できます。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 6 (オプション) これらのネットワークアクセスのログイン情報に関連付けられたノードを追加または編集するには、次の手順を実行します。

- a) [ノードアクセスの編集 (Edit Node Access)] ボタンをクリックし、次のいずれかを実行します。

- ノードリストをエクスポートするには、 をクリックします。

- ノードリストをインポートするには、 をクリックし、[file-path] フィールドに CSV ファイルパスを入力して、[完了 (Done)] をクリックします。この操作により、以前に設定されたノードが上書きされます。

(注) WAE がインストールされているサーバーに CSV ファイルがあることを確認してください。

- ノードを追加するには、 をクリックしてノードの詳細を入力します。

- ノードを編集するには、ノードを選択して  をクリックし、ノードの詳細を入力します。

- ノードを削除するには、ノードを選択して  をクリックします。

- すべてのノードをまとめて削除するには、[すべて削除 (Delete All)] ボタンをクリックします。

b) [完了 (Done)] をクリックします。

ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

ネットワーク モデル コンポーザを使用してネットワークモデルを作成します。

Cisco WAE UI を使用したエージェントの設定

エージェントは情報収集タスクを実行するため、特定のネットワーク収集操作の前に設定する必要があります。このセクションでは、Cisco WAE UI を使用して XTC エージェントを設定する方法について説明します。

ステップ 1 Cisco WAE UI から、[エージェントの設定 (Agent Configuration)] をクリックします。

ステップ 2 [新規エージェントの作成 (Create New Agent)] をクリックします。

(注) テレメトリエージェントと Netflow エージェントは、デフォルトの設定で作成されます。新しいテレメトリエージェントまたは Netflow エージェントを追加することはできません。ただし、カードをクリックすると、設定を変更または削除できます。

他のエージェントを削除するには、ゴミ箱アイコンを使用します。

ステップ 3 エージェントの名前を入力します。

ステップ 4 [コレクタタイプ (Collector Type)] ドロップダウンリストから、[コレクタ (Collector)] を選択します。

ステップ 5 [エージェントの作成 (Create Agent)] をクリックします。

ステップ 6 次に表示されるウィンドウで、適切なエージェント設定値を入力します。フィールドの説明を表示するには、マウスポインタをフィールド名の上に置きます。

ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 8 エージェントを実行するには、[アクション (Actions)] > [run-collection] をクリックします。

次のタスク

ネットワーク モデル コンポーザ を使用して NIMO を設定し、ネットワークモデルを構築します。NIMO タイプの詳細については、[NIMO の説明](#) を参照してください。

Cisco WAE UI を使用したノードフィルタの設定

Cisco WAE UI を使用すると、個々のノードを収集に含めたり、収集から除外したりできます。



- (注)
- ノードフィルタリストには、ノード名およびループバック IP を追加できますが、ノードフィルタ IP には管理 IP を追加しないでください。
 - ノード名は ISIS で機能します。
 - OSPF データベースにはノード名がないため、フィルタ処理は IP アドレスでのみ機能します。
 - ノードフィルタは、セグメントリストのホップをサポートしていません。

ステップ 1 Cisco WAE UI から、[ノードフィルタ (Node Filter)] をクリックします。

ステップ 2 [ノードフィルタの作成 (Create Node Filter)] をクリックします。

ステップ 3 [名前 (Name)] フィールドにノードフィルタの名前を入力します。

ステップ 4 単一の表現に複数のノードを含めたり除外したりする場合は、[正規表現 (Regex)] オプションを使用します。[正規表現 (Regex)] と入力し、[正規表現フィルタ (Regex Filter)] ドロップダウンから INCLUDE ONLY または EXCLUDE ONLY を選択します。

(注) [ノードフィルタ (Node Filter)] オプションを使用する場合は、IGNORE FILTER を選択します。

ステップ 5 または、[正規表現 (Regex)] の代わりに、各ノードに IP またはノード名を追加できます。追加するには、[ノードフィルタ (Node Filter)] ドロップダウンから、INCLUDE ONLY または EXCLUDE ONLY を選択します。

[新しいノードの追加 (Add New Node)] をクリックして、含めるノードまたは除外するノードを一覧表示します。コンマを区切り文字として使用して、複数のノードを選択できます。

(注) [正規表現 (Regex)] オプションを使用する場合は、IGNORE FILTER を選択します。

ステップ6 [保存 (Save)]をクリックします。

スタンドアロンネットワークの作成

次の手順を使用して、DARE ネットワークではない別のネットワークを作成します。

ステップ1 Cisco WAE UI から、[ネットワーク (Networks)]をクリックします。

ステップ2 [新規ネットワークの作成 (Create New Network)]をクリックします。

ステップ3 ネットワークの名前を入力します。

(注) ネットワークモデル名は、入力後は変更できません。

ステップ4 [ネットワークの作成 (Create Network)]をクリックします。

(注) ネットワーク作成後、ネットワークのタイプは「不明」です。ネットワークを設定する必要があります。

ステップ5 作成した新しいネットワークをクリックします。

ステップ6 [NIMOタイプを選択 (Choose NIMO Type)]をクリックし、ドロップダウンリストから NIMO を選択します。[次へ (Next)]をクリックします。

ステップ7 [コレクタ (Collector)]アイコンをクリックして、収集を設定します。

ステップ8 適切な設定の詳細を入力します。フィールドの説明を表示するには、各フィールドの上にマウスポインタを合わせます。

ステップ9 [保存 (Save)]をクリックします。メインのネットワーク モデル ウィンドウに戻ります。

ステップ10 設定をアーカイブするには、[設定のアーカイブ (Archive Config)]をクリックします。

a) [アーカイブパス (Archive Path)]を入力します。

b) [NetIntテーブルを含める (Include NetInt Tables)]フィールドで、[true]または[false]を選択します。

c) クリーンアップアクションの値を入力します。

d) [保存 (Save)]をクリックします。

(注) 異なるネットワークアーカイブには異なるディレクトリを使用します。複数のアーカイブに同じディレクトリを使用すると、プランファイルが失われたり破損したりする恐れがあります。

ステップ11 コレクタアイコンをクリックし、[アクション (Action)]をクリックします。

ステップ12 NIMO 収集を開始するボタンをクリックします (通常は「run-collection」)。

ネットワーク モデル コンポーザ を使用

ネットワーク モデル コンポーザ では、ネットワークモデル設定の複雑さが見えなくなります。さまざまなNIMOを使用したネットワークモデルの作成から、収集を実行するためのスケジュールの設定、ネットワークモデルのプランファイルを保存するためのアーカイブの設定まで、視覚的なワークフローを提供します。

ネットワーク モデル コンポーザ では、次の一般的な制御が提供されます。

画面の右側にある[追加 (Add)]セクションでは、ネットワークモデル、エージェント、NIMO、スケジュールされたタスク、またはアーカイブの作成プロセスが開始されます。

ページの上にある番号付きのナビゲーションには、ネットワークモデル設定プロセスの現在位置が表示されます。各ステップを完了するたびに、スキップしたり戻ったりしたいステップをクリックできるようになります。

設定中のネットワークモデル：収集 (NIMO)、スケジュールされたタスク、またはアーカイブが左側の領域に表示され、その後選択したネットワークモデル用に作成された設定済みコンポーネント (NIMO、スケジュールされたタスク、またはアーカイブ) が続きます。

選択したコンポーネントの設定オプションが下部に表示されます。

ネットワークの作成とトポロジ収集の構成

完全なネットワークモデルを構成する最初の手順は、トポロジ収集で新しいネットワークを作成することです。このタスクでは、追加のネットワーク収集の送信元ネットワークとなるトポロジ収集を構成します。最初の収集後、ノード IP アドレステーブルにデータが入力され、管理 IP アドレスを追加できます。基本的なトポロジ収集の詳細については、[基本的なトポロジ収集](#)を参照してください。



- (注) ネットワーク モデル コンポーザを使用する前に、[Cisco WAE UI を使用したネットワークモデルの構成 \(4 ページ\)](#) の説明に従って、ネットワークアクセスと必要なエージェントを設定することをお勧めします。ただし、ネットワーク モデル コンポーザでネットワークアクセスとエージェントを設定する機会があります。

- ステップ 1** Cisco WAE UI から、ネットワーク モデル コンポーザをクリックします。
- ステップ 2** [+新しいネットワークの作成 (+ Create New Network)] をクリックします。
- ステップ 3** ネットワークモデル名を入力し、[ネットワークの作成 (Create Network)] をクリックします。
- (注) ネットワークモデル名は、入力後は変更できません。
- ステップ 4** [検出方法の追加 (Add Discovery Method)] をクリックします。
- ステップ 5** コレクタの [名前 (Name)] を入力し、[タイプ (Type)] ドロップダウンから NIMO を選択します。
- 既存のネットワークから選択するには、[既存のネットワーク (Existing network)] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンから [名前 (Name)] と [タイプ (Type)] を選択します。
- (注) コレクタの名前にスペースを含めることはできません。
- ステップ 6** [+ Add] をクリックします。
- ステップ 7** トポロジアイコン (Topo IGP または Topo BGP/LS XTC または SR トラフィックマトリックス) をクリックして、収集を設定します。
- ステップ 8** 適切な設定の詳細を入力します。フィールドの説明を表示するには、各フィールドの上にマウスポインタを合わせます。
- ステップ 9** ドロップダウンから [node-filter] を選択します。node-filter を定義していない場合は、[+] をクリックして詳細を入力します。[includeフィルタ (Include Filter)]、[excludeフィルタ (Exclude Filter)]、[ignoreフィルタ (Ignore Filter)] を選択します。[Cisco WAE UI を使用したノードフィルタの設定 \(8 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 10** [保存 (Save)] をクリックします。メインのネットワーク モデル ウィンドウに戻ります。
- ステップ 11** トポロジアイコン (Topo IGP または Topo BGP/LS XTC) を再度クリックします。
- ステップ 12** [アクション (Actions)] をクリックし、次のいずれかを選択します。
- [run collection] または [run-xtc-collection] : 収集を開始します。
 - [ノードリストの更新 (Update Node List)] : 既存のノードを削除、追加、または編集できます。
 - [完了 (Done)] : 前のウィンドウに戻ります。
- ステップ 13** [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

他の NIMO を使用してより多くの収集を構成し、完全なネットワークモデルを作成できます。

ネットワーク モデル コンポーザ を使用した追加 NIMO の構成

このトピックでは、ネットワーク モデル コンポーザ を使用して追加の NIMO を構成する一般的な手順について説明します。NIMO の説明については、[NIMO の説明](#)を参照してください。



- (注)
- NIMO を入力または選択するように求められた場合、「コレクタ」という用語が ネットワーク モデル コンポーザ に表示されます。ネットワーク モデル コンポーザ では、NIMO とコレクタという用語は同じ意味で使用されます。
 - この手順では、追加のトポロジ NIMO を設定します。非トポロジ NIMO（レイアウト、インベントリ、デマンド推論など）は、トポロジ集約後に external-executable-nimo で設定することをお勧めします。

始める前に

作業している ネットワークモデルに基本トポロジ NIMO が設定されていることを確認します。

ステップ 1 Cisco WAE UI で ネットワーク モデル コンポーザ をクリックし、NIMO を設定する ネットワークモデル をクリックします。

ステップ 2 [検出方法の追加 (Add Discovery Method)] をクリックします。

ステップ 3 コレクタの [名前 (Name)] を入力し、[タイプ (Type)] ドロップダウンから NIMO を選択します。

既存のネットワークから選択するには、[既存のネットワーク (Existing network)] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンから [名前 (Name)] と [タイプ (Type)] を選択します。

(注) コレクタの名前にスペースを含めることはできません。

ステップ 4 [+ Add] をクリックします。

ステップ 5 [コレクタ (Collector)] アイコンをクリックして、収集を設定します。

ステップ 6 適切な設定の詳細を入力します。フィールドの説明を表示するには、各フィールドの上にマウスポインタを合わせます。

(注) [ネットワーク インターフェイス モジュール \(NIMO\)](#) トピックを参照することもできます。このトピックは、NIMO および関連する構成オプションにリンクしています。

ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。メインのネットワーク モデル ウィンドウに戻ります。

ステップ 8 コレクタアイコンをクリックし、[アクション (Action)] をクリックします。

ステップ 9 NIMO 収集を開始するボタンをクリックします (通常は「run-collection」)。

次のタスク

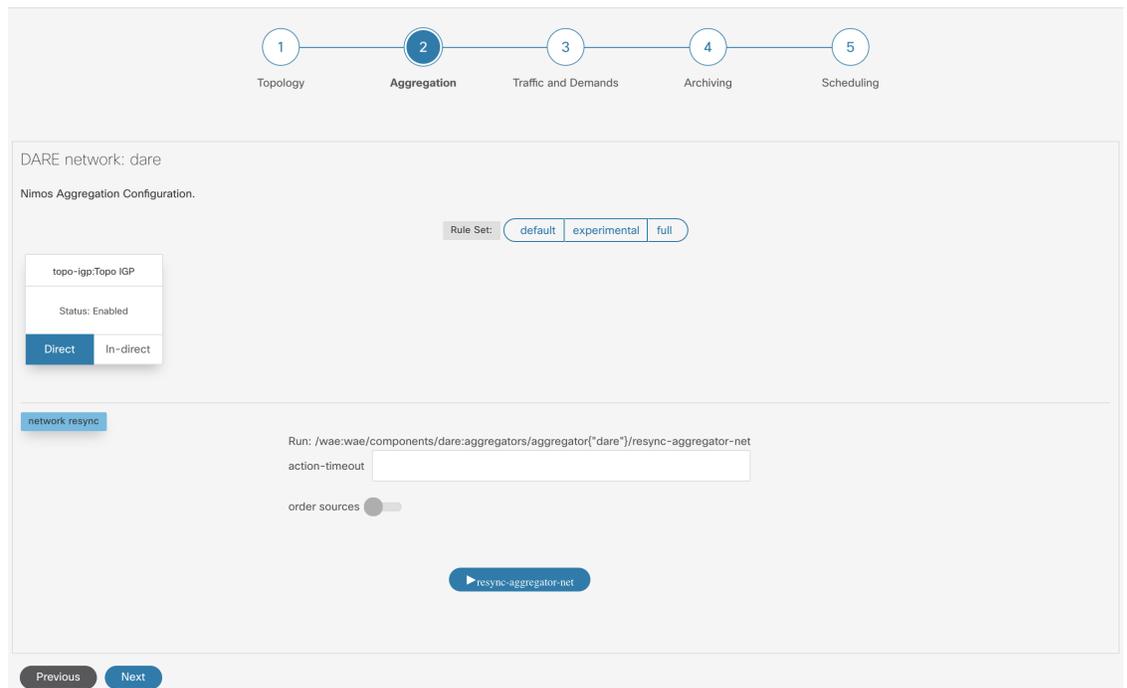
次を実行できます。

- より多くの収集を設定して実行する。
- [ネットワーク モデル コンポーザ を使用した NIMO 収集の統合](#)

ネットワーク モデル コンポーザ を使用した NIMO 収集の統合

複数の NIMO の設定後、すべての収集モデルを統合して、完全なネットワークモデルを構築する必要があります。NIMO の集約後、トラフィック統計 (traffic-poll-nimo) を収集し、ネットワークモデルに対してカスタムスクリプト (external-executable-nimo) を実行できます。

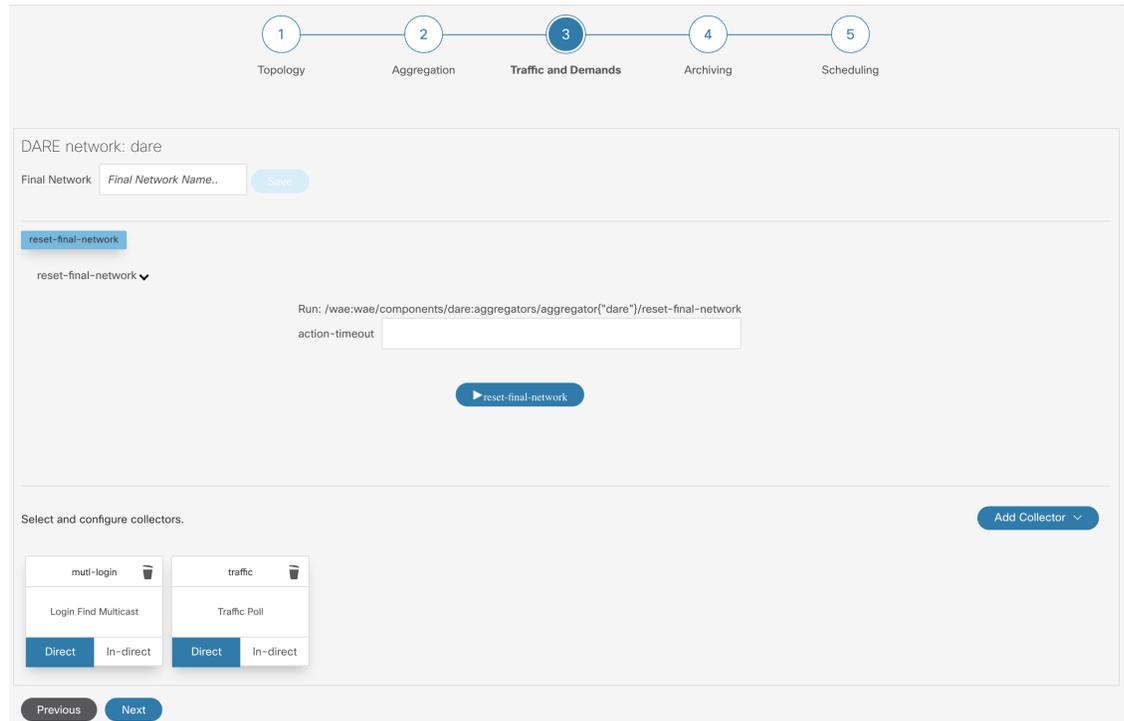
図 1: ネットワークモデルコンポーザ : 集約



- ステップ 1** ネットワーク モデル コンポーザ をクリックしてネットワークモデルを選択します。
- ステップ 2** 上部のナビゲーションバーから [集約 (Aggregation)] アイコンをクリックします。[集約 (Aggregation)] ページは上記のようになります。
- ステップ 3** デフォルトでは、すべての NIMO が集約に含まれます。NIMO を集約から除外するには、[間接 (Indirect)] をクリックします。その収集モデルに対する変更は、集約中には含まれません。
- ステップ 4** [ネットワーク再構築 (network rebuild)] セクションでは、送信元の順序の変更を選択できます。[送信元の順序 (order source)] を有効にし、矢印を使用して [順序指定済み送信元 (Ordered Sources)] リストから順序を変更します。集約の詳細については、[NIMO 収集の統合](#) トピックを参照してください。

ネットワーク モデル コンポーザを使用したトラフィック収集またはカスタムスクリプトの実行

図 2: ネットワーク モデル コンポーザ : トラフィックと需要



始める前に

[Cisco WAE UI を使用したネットワークモデルの構成 \(4 ページ\)](#) で説明されている準備タスクを完了し、収集モデルを集約したことを確認します。

ステップ 1 ネットワーク モデル コンポーザ をクリックしてネットワークモデルを選択します。

ステップ 2 [トラフィックと需要 (Traffic and Demands)] をクリックします。

ステップ 3 (オプション) [最終ネットワーク (Final Network)] フィールドに、最終的な SAGE ネットワークを設定するための名前を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。

SAGE ネットワークを設定しない場合は、[最終ネットワーク (Final Network)] フィールドを空白のままにします。

(注) 最終ネットワークをリセットするには、[reset- final-network] をクリックします。

ステップ 4 [コレクタの追加 (Add Collector)] をクリックします。

ステップ 5 コレクタの [名前 (Name)] を入力し、[タイプ (Type)] ドロップダウンから NIMO を選択します。

既存のネットワークから選択するには、[既存のネットワーク (Existing network)] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンから [名前 (Name)] と [タイプ (Type)] を選択します。

(注) コレクタの名前にスペースを含めることはできません。

ステップ 6 [Add] をクリックします。新しいコレクタが表示されます。

ステップ 7 作成したコレクタをクリックします。

ステップ 8 適切な設定の詳細を入力します。フィールドの説明を表示するには、各フィールドの上にマウスポインタを合わせます。

ステップ 9 [保存 (Save)] をクリックします。メインのネットワーク モデル ウィンドウに戻ります。

ネットワークモデルコンポーザを使用してアーカイブを設定します。

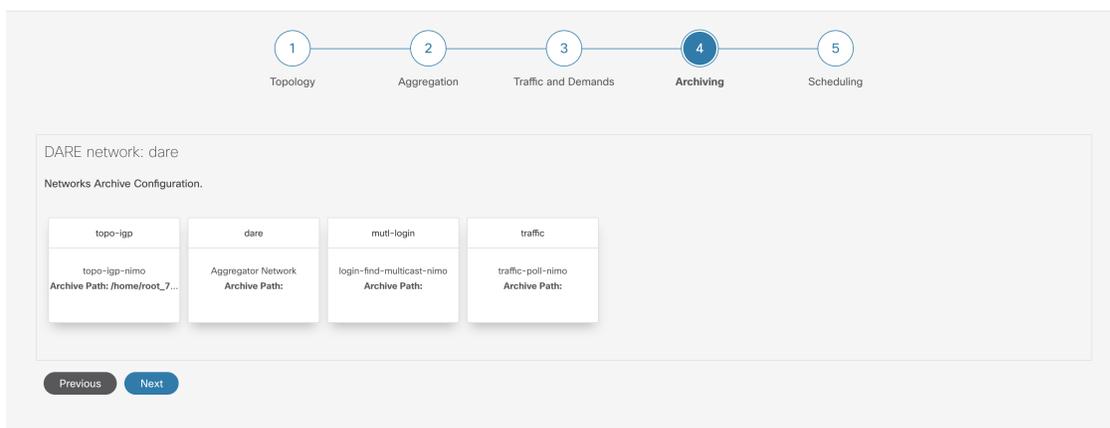
ネットワークモデルを作成し、収集を実行した後、プランファイルを取得して表示するオプションがあります。プランファイルは、特定の時点でのネットワークに関するすべての関連情報をキャプチャし、トポロジ、トラフィック、ルーティング、および関連情報が含まれます。

アーカイブは、プランファイルのリポジトリです。WAE CLI を使用したアーカイブの構成も参照してください。Cisco WAE CLI を使用してアーカイブを設定する方法について説明しています。



(注) アーカイブをスケジュールするには、[ネットワーク モデル コンポーザ を使用したジョブのスケジュール \(16 ページ\)](#) を参照してください。

図 3: ネットワーク モデル コンポーザ : アーカイブ



ステップ 1 ネットワーク モデル コンポーザ をクリックしてネットワークモデルを選択します。

ステップ 2 [アーカイブ (Archiving)] をクリックします。

ステップ 3 アーカイブを設定する NIMO またはネットワークモデルをクリックします。

- ステップ 4** ネットワークが最初に作成されたときに設定した場合は、アーカイブのパスに値が入力されている可能性があります。そうでない場合、またはそれらを変更する場合は、新しい値を入力します。
- ステップ 5** アーカイブが取得される送信元を選択します。
- ステップ 6** [クリーンアップ (Cleanup)]セクションで、[有効化 (Enable)]フィールドの値を選択し、[保持日数 (Retain Number of Days)]の値を入力します。
- ステップ 7** [保存 (Save)]をクリックします。
- ステップ 8** [有効化 (Enable)]をクリックして、アーカイブを有効にします。
- (注) アーカイブは、有効にする前に設定する必要があります。

ネットワーク モデル コンポーザ を使用したジョブのスケジュール

この手順では、ネットワーク モデル コンポーザを使用して実行する、さまざまなネットワーク収集とエージェントをスケジュールする方法について説明します。エキスパートモードを使用して設定可能な追加のスケジュールジョブと設定オプションの詳細については、[スケジュール構成](#)を参照してください。

図 4: ネットワーク モデル コンポーザ : スケジュール



- ステップ 1** ネットワーク モデル コンポーザ をクリックしてネットワークモデルを選択します。
- ステップ 2** [スケジュール (Scheduling)]をクリックします。

WAE UI からスケジュールされたタスクを直接作成できます。Cisco WAE UI から、[グローバルスケジューラ (Global Scheduler)]を選択し、[+スケジュールされたタスクの作成 (+Create Scheduled Task)]をクリックします。スケジューラの名前を入力し、[スケジュールされたタスクの作成 (Create Scheduled Task)]をクリックします。作成した新しいスケジューラをクリックし、必要な詳細を入力します。

[グローバルスケジューラ (Global Scheduler)]ページには、ネットワークに関係なく、設定されているすべてのスケジューラが一覧表示されます。

- ステップ 3** [スケジューラの追加 (Add Scheduler)]をクリックします。

- ステップ 4** スケジュールするジョブの名前を入力します。
- ステップ 5** [Add] をクリックします。
- ステップ 6** [スケジュールするジョブ (scheduling job)] アイコンをクリックします。
- ステップ 7** アクションを追加するには、 をクリックしてアクション名を入力します。
- ステップ 8** [オーダー (order)] フィールドにオーダー番号を入力します。
- ステップ 9** アクションを NIMO またはエージェント、または集約ネットワークのどれで実行するかを選択します。
- ステップ 10** ドロップダウンリストから NIMO またはエージェント、または集約ネットワークを選択します。
- ステップ 11** action-type および path フィールドに値が入力されていない場合は、適切な値を入力します。
- ステップ 12** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 13** (オプション) アクションをさらに追加します。
- ステップ 14** トリガーを追加するには、 をクリックしてトリガー名を入力します。
- ステップ 15** [すべて (Every)] を選択します。[実行間隔 (Run Every)] フィールドに時間間隔を入力し、適切な時間単位を選択します。
- cron 設定に精通している場合は、[Cron式 (Cron Expression)] を選択し、アクションを実行する時間間隔を設定します。
- ステップ 16** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 17** [タスクの実行 (Run Task)] をクリックします。
- (注) 各アクションは、リストおよび設定された順序で実行されます。

プランファイルのダウンロード

ネットワークモデルは、ダウンロード可能なプランファイル (.pln 形式) で保存されます。

始める前に

アーカイブが設定されていることを確認してください。

-
- ステップ 1** Cisco WAE UI から、[グローバルアーカイブ設定 (Global Archive Configuration)] をクリックします。
- ステップ 2** [タイムゾーン (TimeZone)] オプションを使用して、デフォルト値をローカルタイムゾーンに変更します。
+530、-7 などです。[タイムゾーンの追加 (Add Time Zone)] をクリックします。
- ステップ 3** アーカイブ用に設定したネットワークをクリックします。
- ステップ 4** カレンダーの月表示が開きます。プランファイルをダウンロードする日付をクリックします。
- ステップ 5** アーカイブされている .pln ファイルのリストとともに日付ビューが開きます。

ステップ 6 .pln ファイルをクリックして、ファイルをダウンロードします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。